



ストップ 都内の交通死亡事故



都内では交通死亡事故が急増し、7月14日現在88人の方が亡くなられ、昨年と同じ時期に比べると13人多くなっています。

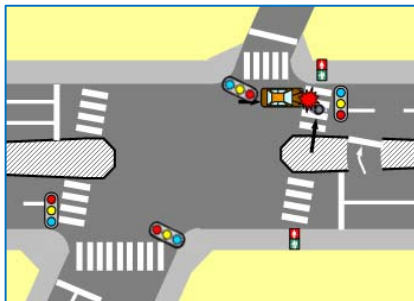
年齢層別では高齢者が29人と最も多くなっています。

高齢者のうち17人は歩行中で、半分以上の9人に何らかの交通違反（信号無視、横断禁止場所横断等）がありました。

※ 高齢者とは、統計上65歳以上をいいます。



* 高齢者を両当事者とする、こんな交通死亡事故がありました…



7月14日（火）

午後4時25分頃

稲城市内鶴川街道において、乗用車（70歳代男性）と道路横断中の歩行者が衝突し、歩行者の女性（80歳代）が亡くなりました。

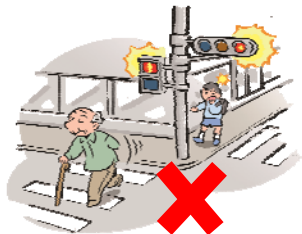
～交通事故の当事者にならないために！交通事故防止7ポイント・アドバイス～

★ 交通ルールを守りましょう！

交通事故に遭わないためには、

交通ルールを守ることが大切です。

信号無視などのルール違反をすることは重大交通事故につながります！絶対にやめましょう！



おつだん 横断は 無理せず 次の 青信号

（高齢者交通安全川柳より）

★ 自分の行動を振り返りましょう！

年齢を重ねると身体の機能が変化し、危険を避ける行動が遅くなりがちです。

また、「相手がよけてくれるだろう」という自分勝手な思い込みをしていませんか？もう一度自分の行動を振り返ってみましょう。

～ 高齢者ドライバーの皆さんへ～

漫然とした運転は、歩行者等や信号などを見落とす危険があり、重大事故につながります。

運転中は危険を予測し、（横断歩道は歩行者がいる等）確実に安全確認をしましょう。

